

授業に関する面接について

教科名等	課題および児童（生徒）の実態・構想の条件等
小学校	<p>〔テーマ（課題）〕 ※<u>新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u></p> <p>小学校4年生の単元「中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう」教材「世界にほこる和紙」（教科書P44～P51）を全7時間で扱います。</p> <p>1時間目は「世界にほこる和紙を読んで中心となる語や文を見つけて要約し、伝統工芸について調べたことを書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てました。その後の2、3、4、5時限目で「初め」「中」「終わり」のそれぞれの段落の読み取りや要約を行う予定です。</p> <p>以上の計画のもと、「初め」「中」「終わり」の読み取りや要約をする授業構想を立ててください。そして、4時間のうち、最後の時間の授業構想を、板書計画をもとに説明しなさい。</p> <p>〈国語科における児童の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童数 31人（男子18人 女子13人） ○言語に対する理解力が低く、本読み等も苦手な学習に集中できない児童が1人いる。 ○国語の学習に関するアンケートで、国語が「好き」と答える児童は、13人／31人であった。「少し好き」と答える児童は4人／31人だった。一方、「苦手、少し苦手」と答える児童は14人／31人で、国語の学習に対する興味関心はやや低い傾向にある。
中学校 国語	<p>〔テーマ（課題）〕 ※<u>新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u></p> <p>課題とする単元では、第1学年の教材『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』を扱い、言語活動として「筆者の工夫を自分のレポートに生かすために友達と教え合う」という言語活動を設定する。また、この教材で学習した後は、『根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く』教材を扱い、実際にレポートを作成する予定である。</p> <p>以上のことを踏まえ、『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』の教材部分、6時間程度の単元構想を計画しなさい。その中で、『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』の終末の時間、「結論に説得力をもたせるために、筆者はどのような工夫をしているか、考えたことを文章にまとめる」時間を取り上げ、その時間の授業の構想について板書計画を基に説明しなさい。（教科書「国語1」：光村図書 p.126 ～ p.143）</p> <p>〈国語科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が興味をもっているジャンルの本を読むことは好きだが、記録文のような形式の文体には慣れていない。身近な動物を扱う内容の文章には興味をもつ生徒も多く、大まかに内容を捉えたり、構成を捉えたりすることはできる。また、説明的文章については、小学校から系統的に学習を積んでおり、説明文直後のそれを模した言語活動には、円滑に取り組むことができる。しかし、他教科や総合的な学習の時間では、国語科の学びを上手に生かすことができず、自分の記録文や報告文を作る際には、出典や中身を精査せず、そのまま書き写してしまう生徒が7割程度いる。

<p>中学校 社会</p>	<p>〔テーマ（課題）〕 ※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 第3学年の公民的分野「D 私たちと国際社会の諸課題（1）世界平和と人類の福祉の増大」において、「さまざまな国際問題」（教科書P.192-203）を取り上げ6時間の授業を構想した。第1時の「地球環境問題」（教科書P.192-193）の授業構想について板書計画を基に説明しなさい。</p> <p>〈社会科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公民的分野の学習への関心はあまり高くなく、社会的事象に関する個別の用語をそのまま覚える受け身な生徒が多い。 ○資料から読み取ったことを身近な生活と関連付けて表現することを苦手とする生徒が多い。
<p>中学校 数学</p>	<p>〔テーマ（課題）〕 ※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 第1学年の教材「比例と反比例」の「2節 比例 ①比例と式（3時間扱い）」（教科書p.133からp.136）において、「比例」についての理解を深める。その際、一般的、形式的に流れることなく、具体的に事象を考察することを通して、比例の関係を見だし考察し表現できるようにしたい。 そこで、前述を踏まえて3時間分の授業を考え、その中の「水槽から水を抜いていくときの時間と水位の関係を調べよう（教科書p.135）」の授業構想を、板書計画をもとに説明しなさい。</p> <p>〈数学科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校で学習した比例の内容については、おおむね理解しているが、その内容を生活の場面と結びつけることができない生徒が多い。
<p>中学校 理科</p>	<p>テーマ（課題）〕 ※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 「身近な物理現象」においてP. 180～P. 182「力の大きさとばねの伸び」の授業を構想する。授業構想を板書計画をもとに説明しなさい。</p> <p>〈理科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験方法に習熟していないため、誤差の多い実験となることが予想される。 ○実験結果から根拠をもって考察することが苦手な生徒が多い。 ○学んだことが、生活や社会とどのようにつながっているか意識できていない生徒が多い。
<p>中学校 音楽</p>	<p>〔テーマ（課題）〕 ※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 第2学年の題材「構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。」（教科書 P. 38～P. 39）において、生徒が主体的に創作する授業（3時間扱い）を構想しなさい。そして、第2時のリズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を工夫する授業構想について、板書計画をもとに説明しなさい。</p> <p>〈音楽科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌唱や器楽などの表現活動に対して、関心が高い生徒が多い。 ○音や音楽を聴き、そのよさや美しさなどを、音楽を形づくっている要素を根拠として、自分の言葉で表現することが苦手な生徒が若干名在籍している。

<p>中学校 美術</p>	<p>【テーマ（課題）】※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 第1学年の題材 「じっくり見ると見えてくる」～私の履物～ 加工粘度、アクリル絵の具、ニス等を使った表現 教科書P14,15（10時間扱い） アイデアスケッチをもとに、子供同士の対話の場面を設定して下書きを構想する場面。 本題材の第3時の授業を想定し、板書計画をもとに説明しなさい。</p> <p>〈美術科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○美術科の授業に、意欲的に取り組む生徒が7割～8割程度いる。 ○以前に、題材「文字っておもしろい」（教科書P42,43）を学習したが、全体的に見て、男子が発想した作品に面白いものが多いが着彩に課題があり、女子は、似たような作品が見られたが、丁寧に着彩し美しく仕上げている。 ○学年の始めに調査した図画工作科のアンケートの分析結果で、男子は立体造形に興味をもち、得意としている生徒が多いが、女子は平面の絵画作品に興味をもち立体造形については苦手意識のある生徒が多いことが分かっている。 ○30人学級（男子13人、女子17人）
<p>中学校 保体</p>	<p>【テーマ（課題）】※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 陸上競技（リレー） 4／6時間目 ＊グラウンドは200mトラックである。 男女混合4人のチームで、1人50m走る4×50mリレーに取り組んでいる。 （各自の走力には差はあるが、4人の合計タイムは、学級内の7チームで大きな差が出ないようにグループ分けをした。） 何回か、4人でバトンパスをし、タイムを測定したり、数チームで競争をしたりした。 それらをもとに、さらにタイムを短縮するためにはどのようにすればよいか、チームで考えて練習している。本単元で身に付けさせたい資質・能力を示しながら、本時の授業を構想すること。</p> <p>〈保健体育科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学1年生 男女共習 合計28人 ○保健体育の内容で「走ること」が好き、得意だと感じている生徒は18人、嫌い、苦手だと感じている生徒は10人いる。しかし、「リレー」が嫌い、苦手だと感じている生徒は5人である。この単元には見学者もなく、全員参加できている。
<p>中学校 技術</p>	<p>【テーマ（課題）】※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 「D 情報の技術」の内容において、双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を行う。8時間の題材計画を構想し、1時間目にガイダンスとして「問題解決の流れ」（教科書P.238～P.241）の授業を行うこととした。板書計画（ワークシートを使用する場合は、ワークシートを黒板に書いても可）をもとに説明しなさい。</p> <p>〈技術・家庭科（技術分野）における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学2年生、男子15人、女子15人、計30人の落ち着いた学級。 ○多くの生徒は小学校において簡単なプログラミングの学習をしてきている。 ○多くの生徒は自宅のPCや携帯端末を使用して情報を検索したり、動画を見たりしている。 ○タイピングの技能については、得意な生徒と苦手な生徒の差が大きい。

<p>中学校 家庭</p>	<p>[テーマ(課題)] ※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 『B衣食住の生活』の食生活「1日分の献立」(教科書P146～151)を2時間扱いで構想し、板書計画(ワークシートを使用する場合には、ワークシートを黒板に書いても可。)をもとに説明しなさい。</p> <p>〈家庭科における生徒の実態〉 ○男子16人、女子14人、計30人の2年生の学級 ○全体的に家庭分野の中でも「食生活」への関心は高い。しかし、家庭での調理経験の差により、知識や技能の個人差がある。</p>
<p>中学校 英語</p>	<p>[テーマ(課題)] ※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。 次のような設定で「本時」の授業を構想し、板書計画をもとにその構想を説明しなさい。</p> <p>第3学年「Unit2 Our School Trip」を9時間で扱う。単元の終末に「クラスの仲間と互いのおすすめの場所などを紹介し合い、得た情報の中から自分がいつか行ってみたい場所や経験したいことを計画する。」という言語活動を設定する。</p> <p>「本時」は本単元の6時間目で、「Unit2 Part3」(教科書P.26, P.27)を扱い、現在完了形の「経験」の用法について理解し、使うことをねらいとする。</p> <p>なお、現在完了形(have [has] +動詞の過去分詞形)については、同じUnitのPart1及びPart2において「完了」の用法を既に扱っており、本時は「経験」の用法を初めて学ぶことになる。</p> <p>〈英語科における生徒の実態〉 ○男子17名、女子17名、計34人の学級。 ○英語を「聞くこと」「話すこと」については抵抗が少なく、積極的に言語活動に取り組む生徒が多い。ただ、人とかかわることが苦手だと感じている生徒が数名いる。 ○英語を好きだと答える生徒は多いが、文法事項を正しく用いて表現することに課題が見られる生徒が半数近くいる。 ○語彙の定着にも個人差があり、聞きたいことや言いたいことが英語で伝わりにくい場面が時々見られる。</p>

保健に関する面接について

<p>養護 教諭</p>	<p>[テーマ(課題)]</p> <p>◇テーマ1(保健管理と救急処置) 校内の「熱中症対策」について、養護教諭として職員への働き掛けや児童生徒への意識付けをどのように行うのか構想を立て、面接委員を職員に見立てて、4分間で説明してください。</p> <p>◇テーマ2(保健教育) あなたの学校の児童保健委員会で、2週間手洗いの呼び掛けと休み時間後の手洗いチェックを行いました。すると、3学年は手洗いをしている人数が少なく、4学年は手洗いを全員していました。3学年と4学年の病気での保健室来室状況を確認すると、3学年が多かったとの結果がみられました。この結果をもとに、あなたは小学校第2学年2組の学級27人の児童に対して、「感染症の予防における『手洗い』の指導」を5分間で行います。面接委員を子供に見立てて、実演指導を行ってください。</p>
------------------	--